

全 員 協 議 会

日 時 令和6年9月27日（金）

本会議終了後

場 所 議場

付議事項

視察報告について

岡山県・津山市行政視察報告

■矢田松夫

いつ : 2024年7月24日(水)
どこに : 岡山県津山市議会事務局 14時20分~16時
だれが : 矢田松夫
市勢 : 人口 95,411人(R6・7/1)
議会 : 定数25人(前期R5/28人) 一般質問の質問時間は30分以内、平均2人程度が登壇、質問項目は3件以内、代表質問は3月に、執行部の反問権は1案件1回認め、政務活動費5万円/月、つやま市議会だより「みんなちやい」年/4回、生中継・録画配信、地元CATV録画放送

*何のために(視察目的)

・津山市議会公式「市議会スタジオ」に学ぶ

*どのような(視察の項目)

- ①チャンネル登録者増大にむけての対策はどのようにされているのか
「議員の個別動画を編集し、タイトルは興味をそそる内容をつける」「出来るだけ議員を多く出演させる。
- ②上記の取組で市民からの反応はどうか
「一般質問は、各動画は当日(即日)、編集・公開をし、夕方には見られるので、地域の課題(市民の要望)、市政チェックが、議員によりどのようになったのか市民は期待している」
- ③各議員の一般質問を視聴した回数が表示されているが、この事は各議員への関心度ととらえていいか
「視聴動画閲覧回数は、各議員への関心度回数と比例傾向にある。再生回数の多い議員は傍聴希望者も多い。一般質問後の各議員も、自身の再生回数を気にしている」
- ④委員会別にYouTube配信されているが、どのような効果が表れているか
「動画配信は、コロナ渦で議会報告会の代替策として公開した。議会運営正副委員長出演の議会日程概要は市民から好評を得ている」「動画編集作業は、すべて事務局職員で実施している」

*どうするか(考察)

- 1, まずは知ってもらう、関心をもってもらうには「映像」は非常に大事。文字の議会だより。声の広報誌との認識で、今以上に改善が必要と感じる
- 2, そのためにも、ただ単に「市議会本会議中継」のタイトルよりは「市議会〇〇」と変更してはどうか
- 3, 動画配信は市民が視聴している。出来るだけ多くの議員が出演することにより、議員活動の様子が見られる
- 4, 現在は、議会報告のみの動画配信だが、月に〇本、最低でも1本の配信することによ

り関心度を強化することにならないか

5, 議場は本会議中心で使用されているが、良いマイク設備や良い収録・照明が整っている議場を活用しての撮影場所は考えられないか

6, 動画はなるべく短く（津山市議会は5分～10分だがまだ短い編集を検討）

（市民の声～津山スタジオの難題）

①視聴者数が伸びない

②見てもらう工夫が無い

③顔が怖い、固い

④長い

⑤面白くない

などがあり、本市の課題ととらえる。現在 YouTube による動画配信は1本だけだが、今後各チャンネルを増やしていくならば、上記のような課題を克服することが責務です。

「山陽小野田市議会」の存在を知ってもらう努力は、議員自らのPRにかかっていると感じた。